



## 「沼津こいのぼりフェスティバル」でPR活動



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、5月4日（土）及び5日（日）の2日間、沼津市狩野川の河川敷で行われた「沼津こいのぼりフェスティバル」において、板妻駐屯地（御殿場市）第34普通科連隊とともに会場を盛り上げた。

このフェスティバルは、河川敷に掲揚された多くのこいのぼりの中で、地域の子供たちの成長を願い、家族同士の交流を目的として毎年開催されている。今年は地元高校の応援団やチャリディング部などの参加によるステージで盛り上がり、2日間で約1万8千人の市民が来場した。

自衛隊は、風になびくこいのぼりを背景にして、河川敷に高機動車と偵察用オートバイを展示。併せて子供用迷彩服の試着体験コーナーを設けた。

特に自衛隊車両展示場には子供連れの家族が多く訪れ、高機動車の運転席に座った子供たちからは「将来自衛隊の車を運転したい」と元氣な声が聞かれた。

また、「自衛隊にふれられるイベントはありますか」などの質問も多く寄せられ、広報官は静岡地本のホームページに掲載している各種イベント情報を紹介するとともに、未来を担う子供たちや家族に対して、いつも以上に丁寧かつ分かりやすい言葉で話しかけていた。

静岡地本は、引き続き地域との交流を深め、将来の自衛官希望者にも届くように幅広い世代の方々に自衛隊の広報活動を実施していく。

## 模型の世界首都・静岡市で自衛隊をPR 静岡ホビーショー



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、5月11日（土）と12日（日）、ツインメッセ静岡（静岡市）で開催された「第58回静岡ホビーショー2019」において広報活動を行った。

このイベントは、日本のプラモデルメーカーの多くが静岡にあることから「模型の世界首都・静岡市」で毎年開かれているビックイベント。今年も全国各地から7万人を超える来場者が訪れた。ホビーショーでの自衛隊広報コーナーは毎年好評で、陸上自衛隊機甲教導連隊（御殿場市）の「16式機動戦闘車」をはじめとした陸上自衛隊の実物車両の周りにはファンが殺到し、熱い視線を向けていた。

静岡地本は自衛官の制服や迷彩服の試着コーナーを開設。小さな子供たちも迷彩服姿の自衛官になりきって最新鋭の戦闘車の前で記念撮影し、親子連れやミリタリーファンで大いに賑わった。

一方、隣接した展示室内では、海上自衛隊横須賀地方総監部（神奈川県横須賀市）がイージス艦などの艦艇模型を展示し、静岡地本静岡募集案内所が自衛官採用制度説明コーナーを開設。展示された自衛隊車両を見て自衛官に興味を持った若者たちが数多く訪れ、自衛隊の採用種目やキャリアアップについて熱心に聞き入っていた。また、「自衛官になるために今からやっておくことは何か」「子供の将来の夢である自衛官について詳しく知りたい」といった保護者らのリクエストにも適切なアドバイスを送った。

静岡地本は、今後も地元で開催されるイベントに積極的に参加して盛り上げるとともに、多くの人々に自衛隊の活動や任務についてPRし、自衛官を目指す優秀な若者の夢を叶えるためにも、家族に対するナビゲーターも担っていく。